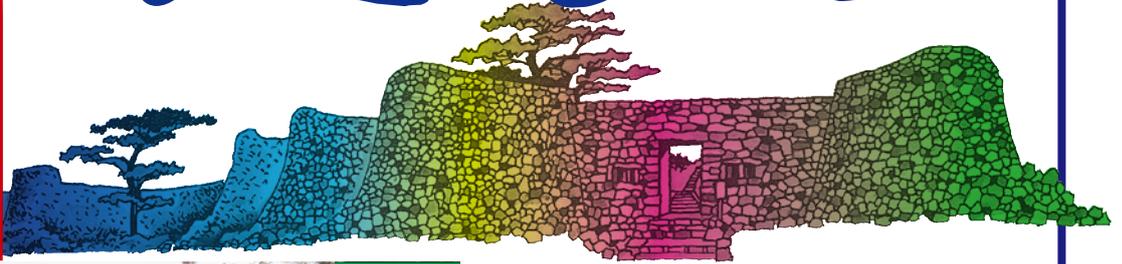


議会だより



# なきじん

No. **151**  
H30年9月1日  
発行



## 沖縄県人南米移住(移民) 百十周年記念式典

沖縄県人ブラジル移民百十周年記念祝展  
ブラジル文化センターにて、記念式典・記念祝賀祭が開催され多くの日系沖縄県人、及び本国沖縄県から多数の沖縄県民が慶祝に訪れた。



沖縄県人アルゼンチン移住  
百十周年記念式典  
在亜沖縄県人連合会会館大ホールにて、記念式典・記念祝賀会が開かれ百歳以上五名・九〇歳以上一人へ沖縄県知事から感謝状が贈呈された。



沖縄県人ポリビア移住百十周年記念祭展  
ポリビアは、国の面積が日本の三倍あり、入植順に第一〜第三移住地に別れて、世代も一世から三世へと引き継がれている。



もくじ

沖縄県人南米移住(移民)110周年記念式典	1 p
一般質問と答弁	5 p
議決結果・賛否一覧表	15 p
編集後記	16 p

**沖縄県人ブラジル移民110周年記念祭典**  
**沖縄県人アルゼンチン移住110周年記念式典**  
**沖縄県人ボリビア移住110周年記念祭展**

日程	南米110周年訪問団日程	2018/8/3(金)～8/15(水)
	ブラジル連邦共和国祭典	2018/8/4(土)～8/6(月)
	アルゼンチン共和国式典	2018/8/7(火)～8/9(木)
	ボリビア多民族国祭典	2018/8/10(金)～8/12(日)



ブラジル連邦共和国

への渡航は平成28年の沖縄県人会創立90周年記念式典に

参加してまだ記憶も新しく何となく故郷に帰った気分である。

式典会場も同じであったのでより身近に南米に触れたようであった。しかし、懇親会は前回とは一変して中身が濃い再会になった。前回会え



ブラジル沖縄県人移民110周年記念式典

カチャーシーを終え記念撮影 Muito obrigada.

なかつた県人会長とも会えて、組織の一片に触れたようである。県人会の一世から連綿と続いた移住者の繋がりは100年たっても色あせせず、「ピラカロン沖縄まつり」の華やかで壮大なパレードはあたたかも沖縄県にいるのかと錯覚を覚える。

記念式典&祝賀会は、2年前と同じジオデーム沖縄文化センターで式辞・来賓祝辞・記念品贈呈・余興と続き、最後は地元のサンバ演奏・演舞で盛り上がり参加者全員の力チャーシーで閉会になった。



アルゼンチン共和国

アルゼンチンのブエノスアイレスの夜景は「南米のパリ」といわれているが、今回の式典の参加は夜間飛行になり、航空機の窓から見る夜景はまさに魅惑的であった。町並みは十九世紀のヨーロッパ風の石畳や寺院建築の石造りの様式で、スペインもかくあろうかと思われた。

またアルゼンチンタンゴの発祥地としても世界的に知られている。市の中心にある5月広場はとみに有名。

今回は県人会の式典終了後村人会の盛大な歓迎に会い、特に今帰仁村代表者が同級生と知り、58年ぶりに感激の対面となった。相手も私に来るとは思いもかけず、2人だけの同期会となった。また與那嶺3兄弟にも大変お世話になり家庭料理や、お土産の買い物など経験できない体験をさせて頂き感謝である。日系の商店や野菜栽培の農家も見学できた。南米の地域の治安は最悪で、自分で身を守らないと夜も安心して眠れないほどである。今回の参加国の中でもアルゼンチンが最も暮らしにくいと感じた。



ボリビア多民族国

ボリビア移住記念式典は思いもかけず私の親戚の一族と、もう一方は今帰仁村人会の会長で私と同郷というハプニングがあった。

親戚は出発前の沖縄県の新聞にボリビアの記事が載っていて一世の名前が妻の旧姓と同じ(沢岬、写真の左後と右



端の女性三人)で、もしかしたら縁があるのではないかと期待していたら、まさに近い親戚で二度ほど自宅近くにも来ていた。新聞の記事には一世の功績が載っていたが、子孫も初代に劣らず数名が市長職にも就いていたことが今回の表彰で発表された。

そしてもう一方は、今帰仁村人会の会長で(写真真中と右後の親子)謝花義夫さん。話を聞いていると弟さんが健在で私と同じ地区にいて旧知の間柄で二度びつくり。

ボリビアは、他の二か国より過酷な条件で、先人の苦勞は想像に絶するが、二世、三世が移住地の明日を背負うことでしょう。

Brazil  
Bolivia  
Argentina

# 南米スナップ集



平成 28 年のブラジル沖縄県人会創立 90 周年記念式典の時も訪問。地域に定着しているようで、その時の従業員は 500 人であったが、2 年で 10 パーセント増えて 600 人になり、着実に発展している。

今回照屋社長自ら照屋家のルーツを語る。当初一家はボリビアに移住し、縫物を家業にして家族で頑張っていた。その後ブラジルに移住して 2 年間は縫物を続けたが、後に建設資材の卸販売を始め、好調に行く。「これもひとえに多くのウチナンチュに助けられたおかげです。感謝しています。」と語った。

ビラカロン沖縄まつり(2018/8/4)。各地区の琉装やユニフォーム、ダンス、仮装行列、空手演武、カーニバル、そして沿道の日本・ブラジルの国旗を振っての応援、記念式典を翌日に控えて祭りムード満点。

ブラジルの今帰仁村人会の皆さんは、いつも先頭に立っているのが島袋家である。今回も温かいおもてなしを受けた。ありがとうございました。



アルゼンチンの沖縄県系企業視察は Calzados Yagi [屋宜靴販売店(宜野座村出身)]。かなり手広く商売をしており、通りのいたるところに系列店があった。宜野座村の小渡議長はお馴染みの店らしくいくつか靴を購入していた。訪問団を対応したのは専務で、社長は今の時期(冬)は沖縄へ避寒に行っているとのことであった。8月の南米は真冬である。

3人の女性は、今帰仁村の観光大使であり、アルゼンチンの歌姫としてもすっかり定着している日系演歌歌手[大城バネサ]さんの左からおばあさん、おねえさん、おかあさんである。皆さんお元気で何より、おばあさんはしきりに「バネサをよろしく願います」と話していたので、今帰仁では知らない人はいませんといったらうれしそうにしていた。

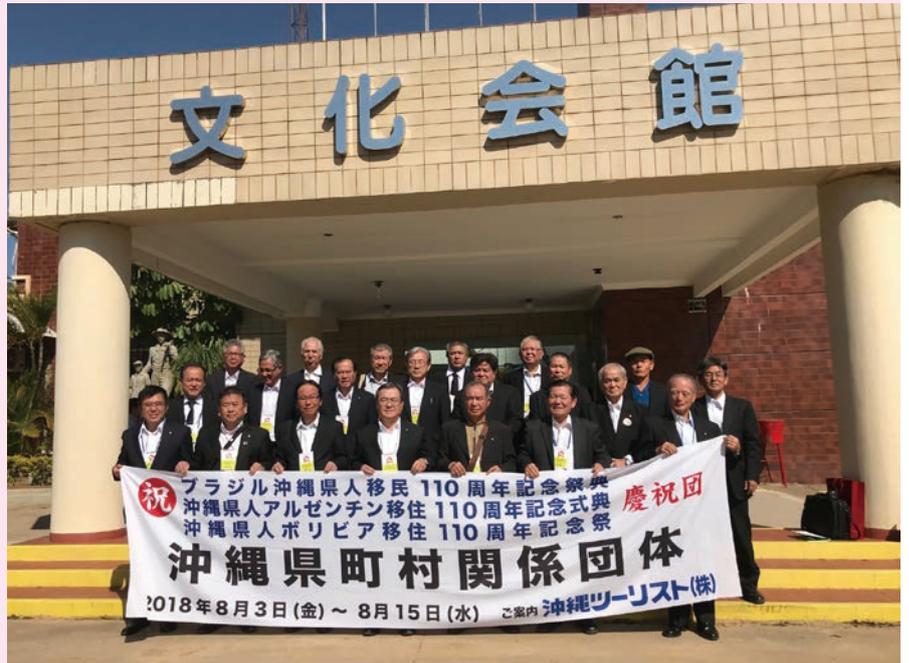


ボリビアの民族芸能でいかにも南米の国柄を表してエキゾチックな香りのする踊りである。男女が入り混じって踊り、輪になって座り、一人ずつ立ち上がり次々とユーモラスにその場でけんかをする変わった踊りであった。



民族資料館に展示してあった100年前に使っていた大工道具や民具、蓄音機、石うすなどの一部。長いのがぎりはゆうに3メートルほどあり、二人がかりで大木を伐採して荒山を開墾し、耕作地を開拓して今日の繁栄があっただろう。

今更ながら先人たちの血と汗と涙の痕跡を想像させる道具である。



民族資料館の近くにある文化会館。中は広くいろいろな行事や催し物に使用されている。今回のボリビア移住110周年祭典もこの会場で行われ、懐かしい人々に会い、踊り等が開催された。場内の接待は学生ボランティアがキビキビと動き、スムーズに進行していた。



アルゼンチン今帰仁村人会代表者伊波幸勝氏、58年ぶりに再会した同級生と感激の対面



ボリビアのうま園にて植樹祭。野外ステージにて昼食及び各村人会との交流会が催された。

# 一般質問

## 6月定例会

会期日程(6月14日～22日)

9名が一般質問しました 6月11日～22日(通告順)

P6	吉田 清尊 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① クルーズ船入港と古宇利島振興について</li> <li>② 沖縄県立農業大学の誘致について</li> <li>③ 一般職非常勤職員の給与賃金引上げについて</li> <li>④ 城跡補償金と景観づくり事業推進について</li> <li>⑤ 平良新助ひやみかち公園の建設について</li> <li>⑥ 入学準備金の増額を実現することについて</li> </ul>
P7	與那 勝治 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自主財源について</li> <li>② 今帰仁城跡について</li> <li>③ 仲宗根区商業用地について</li> <li>④ 企業版ふるさと納税の活用について</li> <li>⑤ 今帰仁村営住宅について</li> </ul>
P8	座間味 薫 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 庁舎建設について</li> <li>② 中央公民館施設について</li> </ul>
P9	上原 祐希 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 観光振興について</li> <li>② 電子自治体推進計画について</li> <li>③ 今泊区の港川に架かる「国道505号3号ボックスカルバート」(橋)の改修について</li> <li>④ 景観事業について</li> </ul>
P10	與那嶺 透 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① フリーWi-Fiアクセスポイントの整備、拡充について</li> <li>② 農作物の鳥獣被害対策について</li> <li>③ 海中不発弾の処理について</li> <li>④ 村道与那嶺諸志線沿いの松くい虫対策について</li> </ul>
P11	與儀 常次 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 幼稚園、保育所の跡利用について</li> <li>② 今帰仁村のゆるキャラについて</li> <li>③ 子どもの貧困対策について</li> </ul>
P12	島袋 誠 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 村立小中学校による学力推進について</li> <li>② 羽地大川農業用水について</li> <li>③ 今帰仁村運動公園委託管理について</li> <li>④ 「古宇利マジックアワーRUN in 今帰仁村」の開催時期について</li> </ul>
P13	玉城 みちよ 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 総合運動公園を利活用したコミュニティづくりについて</li> <li>② 今帰仁村移住定住促進業務について</li> </ul>
P14	山城 太 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① スクールバス停留所の整備について</li> <li>② 観光振興について</li> <li>③ 地域おこし協力隊について</li> </ul>

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面お都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。

詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。



吉田 清尊 議員

**問1** クルーズ船入港と古宇利島振興

大型クルーズ船の入港で古宇利島への観光客の大幅増加が見込まれる。古宇利ふれあい広場周辺に大型駐車場と店舗、公衆トイレ、管理事務所、シャワー施設等の建設に取り組む計画。また、ハートロック周辺道路の拡張と舗装、蓋のある排水等の整備。浜に降りる歩道は上がり下がりがとても危険。周辺整備を早急に実施するか。村長の計画、見解は。

古宇利島の観光客の大幅な伸びに古宇利ふれあい広場の駐車場、トイレ等整備が追いついていない。村は

**答** 喜屋武治樹村長

古宇利島の観光客の大幅な伸びに古宇利ふれあい広場の駐車場、トイレ等整備が追いついていない。村は

急ぎ整備を進めるよう検討したい。ハートロック周辺の整備は、平成30年度で用地測量及び用地購入を行う予定。工事は次年度から予定している。

**問2** 沖縄県立農業大学の誘致

村長の選挙の公約である沖縄県農業大学の誘致にどのように取り組む考え、計画か。農業大学誘致村民総決起大会開催計画は。

**答** 村長

県立農業学校の本村誘致により、農業・畜産業の振興、教職員等の就労や学生向上に向けた情報収集の場としても大いに期待される。

県立農業大学校誘致村民総決起大会の開催は、今後の動向を踏まえ検討する。

**問3** 一般非常勤職員の給与・賃金引き上げ

これまでも村役場の一般非常勤職員の給与・賃金を引き上げるよう一般質問を行った。改めて質問する。

**答** 村長

今年度より、時給等の一部見直しを行っており、今後の引き上げについては、社会情勢や景気の動向、近隣市町村の動向も踏まえ検討する。

**問4** 城跡補償金と景観づくり事業推進

今泊区の財産の今帰仁城

跡は、今帰仁村に管理委託。補償金は1年の入場料収入約1億円が今帰仁村、565万円が今泊区と極端に少額である。以前は入場料の収入の3分の1前後の割合。次年度4月から今帰仁城跡の補償金を適切な金額に引き上げを行う考え、計画は。

**答** 村長

今帰仁城跡の補償金の引き上げは、今泊区と協議を重ねてきている。

景観づくり事業は一括交付金を活用し、今泊区をモデル地区として、景観村づくり支援メニューの検討を行ってきた。村全体を対象の支援メニュー、補助率、補助額の検討を行う。今年度は、必要な要綱等を作成する。

**問5** 入学準備金の増額の実現

入学準備金の増額を実現することについて。入学準備金の借り入れ限度額は30万円。困っている方々にとって、30万円は入学に備えるのに十分な金額ではない。

**答** 玉城奎教育長

入学準備金の平成28年度貸し付け実績は、10件で300万円。平成29年度は5件で150万円となっている。次年度から借入限度額を引き上げる件については保護者のニーズ及び償還状況も勘案しながら検討していきたい。

村内の「景観づくり事業」を実施して、ブロック塀を石張りにする等に取り組む計画、村長の考えは。

お金を工面することができないことで大学、専門学校への入学を断念する可能性がある。次年度の大学、専門学校等の準備金を60万円まで引き上げていただきたい。教育と人材育成を主要施策とする村の見解は。



與那 勝治 議員

**問1** 自主財源

庁舎建設についての財源や資金調達方法、返済計画。

**答** 企画財政課長

まだ庁舎の規模を算出する時期に至っていないが、地方債や一般財源、起債などを充てて建設予定している。一般財源は、村有地売却等の選択肢もあると考えられる。

**問** 村有財産売却について、ホームページ以外でこういう公募をしたか。

**答** 企画財政課長

ホームページのみの公表となっている。

**問2** 仲宗根区商業用地

については、広報や区の情報提供、場合によっては新聞広告等、あるいはネットを含めて情報を広く公開し、指摘されない方法に改善していく。

**答** 企画財政課長  
現在まで商業用地としての規定のみだったが、住宅をつくる用件を加えて再募集している。応募がなかった場合、坪単価の再調整が必要と考える。

**問** 単価の件だが、こちらを下げてしまうと周りの地価も下がってくるとい話もあった。応募がなかった場合、貸すということも可能か。

**答** 企画財政課長  
この質問が出るまでは村長に伺いはなかった。そうであれば早い段階で決裁等指示できる。今後担当職員にも十分注意を促し、適切に条例等に則って村営住宅の入居事業ができるよう改善していきたい。

**問3** 今帰仁村営住宅

**答** 企画財政課長  
募集に依じてくれる事業者がいることを願うが、応募がない場合、次の段階として賃貸も含めて検討したい。

**問** ネット環境がなく、買いたいと思っている村民にどう対応するのか。

**答** 副村長

村有地の売払いについては、広報誌に載せる方向で検討しつつ、必要に応じて広く検討していきたい。

**問** わからないところでの売却は、知られたらまずい情報があるのかと勘ぐってしまふ。村長は積極的に情報を発信すると言われているが、何で今回積極的に情報を発信しなかったのか。

**答** 村長

今質問され、指摘されたそのとおりだと反省している。今後の村有財産の処分

# 議会ホームページリニューアルしました。

ホームページでは下記の情報を公開中

- 議員名簿 ● 議会だより ● 議会議事録
- 定例会(議決結果・賛否一覧表) ● 臨時会(議決結果・賛否一覧表)
- 請願と陳情について



座間 薫 議員

**問1** 庁舎建設

昨年12月に委員会が設置されているが開催状況は。

**答** 村長

これまでに5回開催している。

**問** 発注方法について従来型にするのかPFI方式にするのか結論はいつごろ出る予定なのか。

**答** 総務課長

現在のスケジュールで行くと、PFI方式等、9月末までをめぐりし、決定するスケジュールで進めている。

**問** 役場職員20名によるプ

ロジェクトチームが作られているが今日までの一連の動きは。

**答** 中原茂仁副村長

昨年度6回開催し、今年度1回、計7回会議を持っており、昨年11月に、座間味村、12月に鹿児島県の和泊町の視察も行っている。

**問** 広報なきじんに住民意見交換会が行われたとあり基本方針(案)、住民アンケートの結果報告が行われているが、内容について。

**答** 村長

平成30年4月25日にコミュニティセンターで開催し、住民15名が参加し基本方針(案)、住民アンケート

トを基に説明を行い、住民からの質疑に関する回答をし、将来の職員数規模をどれくらい想定しているのか等の質問等が寄せられた。

**問** 庁舎建設場所について、住民アンケートの80%が現在の場所またはその周辺とあり、一方基本方針では十分な海拔をコンセプトにうたわれているが、現在の場所はそのコンセプトに適する場所なのか。

**答** 副村長

現在の場所については、海拔8.5mあり、津波浸水想定水域に近接しており配慮が必要だと思うが、津波浸水想定水域内にある訳ではないので、防災に配慮しながら現在の場所またはその付近につくっていくことは可能ではないかと考えている。

**問2** 中央公民館施設

子ども食堂や、子どもの居場所づくりとして、利活

用される考えはないか。

**答** 教育長

中央公民館の食堂は、現在老朽化に伴い衛生面での課題があり、機能を果たしていない状況にあり、子ども食堂を実施するにしても調理は別の場所で行う事になるうかと思う。

居場所については、和室を利用した自学塾を平成28年から実施し家庭学習の環境に加え、自ら学ぶ機会、場所を提供している。



**答** 社会教育課長  
ガスコンロ、流し台、すべて老朽化に伴い実施していません。

**問** 調理教室とか、そういうものに保健センターの調理室を使い、それを頼りに直さないという事はありえない事だと思うが、どの様にお考えか。

**答** 社会教育課長

補修、修繕にどれだけかかるかという事を念頭において検討していきたい。

**問** 頂いた資料によると、10年間調理室としての機能を損なったまま、保健センターや、それ下の調理場を利用していただけの事だが、補修はできなかったのか。





上原 祐希 議員

**問1** 観光振興

インバウンド対策、観光客の満足度向上、村民の生活向上のためにも、古宇利島への早期の光ケーブル開通、また、村内の未開通エリアへの早期整備が必要と考えるが村当局の考えは。

**答** 副村長

古宇利島について橋で繋がっている為、離島ブロードバンド事業の対象ではなく、県としては財政的支援ではなく、事実的助言等はやっていくので、民間事業者と村が協力して進めてはどうかとのことだった。N T T等事業者にも聞いているが、事業者単独、または、村単独で全額を古宇利島のブロードバンド敷く為に出すのは難しい。補助事業がないか、金額を下げる方法ないか、県から少しでも支援できないか検討。

**問** 協議の中で、県の考え、村としての考えをどう協議していったのか伺う。

**問** 住民サービス向上はも

ちろんだが、古宇利島は県内屈指の観光地域。観光客へのサービス向上の観点か

ら光ケーブルを活用したICTを活用したサービスの提供は必須。観光振興の観点から県に要請しているか。

**答** 村長

県主催の圏域別行政懇談会で、古宇利島は離島ではないが、非常に観光客が多く、本部港へのクルーズ船寄港で更なる観光客増が予想される。そんな中、橋が架かり離島ではないから整備事業が出来ないのは理解できないと強く要望した。謝花副知事から「村長からの指摘の件について、非常に重要な場所と理解している。担当部局でも詰めていきたい」と前向きな答弁があった。直接県へ早期開設もしくは整備を要請していく。

**問** 村内の中でも、渡喜仁、運天、上運天など宿泊施設など伸びている地域へのネット環境整備は。

**答** 副村長

村内の誰もが光ケーブルを使える環境が出来れば、

それが一番。

**問** 今帰仁城跡の歴史、村内情報などで多言語対応での情報発信でデジタルサイネージが必要ではないか。

**答** 社会教育課長

内容、予算等ニーズにあつた内容を再度担当部署と検討。

**問** 村内飲食店、宿泊施設等、村内至る所を楽しんで貰えるよう、一括情報発信システムが必要では。

**答** 社会教育課長

本当にいい情報発信源。中味、予算について改めて協議していく。

**問** 「釧路町桜まつり」への参加後の懇親会にて、釧路町観光協会長と村長の間でアイヌ伝統芸能と北山の風など、文化芸能交流、児童交流など今後の凄くいい展望を話していたが、現在の観光協会同士の姉妹提携の中、観光協会だけでは予

算的に厳しい。村として事業化を本格的に考えるか。

**答** 村長

まだ今年から交流が始まったばかりで、今後の交流を深めていく中で検討していきたい。

**問2** 今泊区港川に架かる国道505号3号ボックスカルバート(橋)の改修

一括交付金を活用した整備により、景観も川幅も広くなり大変素晴らしい事だが、国道505号線の通る橋の幅はそのまま、そこが狭くなり台風時など国道まで潮が上がる。村として対策は。

**答** 村長

平成25、27、29年度と県土木建築部に要請してきたが、村での対応を求められないか調整していく。

### 問1 フリーミーティング クセスポイントの 整備拡充

近年、増加している国内  
外からの観光客に対し、快  
適なインターネット環境を  
提供し、満足度を高め、リ  
ピーターを増やしていくこ  
とが観光産業の発展につな  
がると考える。村内の公共  
施設および飲食店や小売店  
などといった人々が集まる  
場所にフリーミーティングのアクセ  
スポイントの設置、設置に  
かかる費用支援ができない  
か。

天港旅客ターミナルに設置  
されており、その他の公共  
施設については整備の予定  
はない。整備に対する支援  
については検討していく。

問 村内のネット環境はま  
だまだ不十分だと考える  
が。

答 総務課長  
公共施設については不十  
分だと認識。

問 整備については莫大な  
費用がかかると認識してい  
る。補助事業等が探せてい  
ないのか。

答 副村長  
現在のところ整備に使え  
る補助金を見つけていな  
い。



與那嶺 透 議員

答 村長  
現在、北部広域ネットワー  
ク協議会の運営で、村グス  
ク交流センター、役場、運

い。これから沖縄県等に要  
請していきたい。

問 総務省から「防災に資  
するWi-Fi環境整備計画」  
という補助事業がある。条  
件が合えば補助率が3分の  
2になる可能性がある。今  
一度検討をしてみてもいい  
か。

答 副村長  
調査し、使えるようであ  
ればそれも参考にしたい。

### 問2 農作物の鳥獣被害

沖縄本島中南部地域で  
「シロガシラ」によるレタ  
スなどへの被害が広がって  
いるとの報道があった。本  
村でもブロッコリーなどと  
いった露地栽培の作物が被  
害にあったとの声が寄せら  
れたが、対策は。

答 村長  
農産物への被害は村内全  
域で確認されており、これ  
までは果樹への被害が主で  
あったが、昨年度からはキャ  
ベツやブロッコリー等露地

野菜への被害報告が増加し  
ている。村としては捕獲箱  
の設置や猟銃による駆除を  
実施してきたが思うような  
成果が上げられていない。

問 トンネルのようにかぶ  
せられるような防鳥ネット  
が対策の一つとしてあると  
思うが、設置費用を支援す  
る計画は。

答 経済課長  
村の鳥獣被害防止計画に  
「マングース」と「シロガシラ」  
が記載されているが現時点  
では支援というものはされ  
ていない状況。今後は関係  
機関と調整しながら進めて  
いきたい。

### 問3 海中不発弾の処理

絶滅危惧種のジュゴンが  
回遊するウツパマ沖や古宇  
利島北沖に不発弾が発見さ  
れた。村としての対応は

答 村長  
発見後、村から海上保安庁  
へ通報し、海上自衛隊による

集積・水蓄保管作業が行わ  
れた。今後、ウツパマ沖の  
ものは海上自衛隊、漁協な  
どと水中爆破処理について  
時期、場所等を調整していく。  
古宇利島沖については関係  
機関と協議していく。

### 問4 村道与那嶺諸志線 沿いの松くい虫対 策

同村道を山手に進んでい  
くと松くい虫による被害だ  
と考えられる松の木が多数  
目についた。景観を守ると  
いう観点からも早急な対応  
が望まれるが。

答 村長  
枯れ木についてのその多  
くは個人有地であり、私有  
財産であることから原則的  
に所有者が対応していただ  
きたい。



**問1** 幼稚園、保育所の跡利用

各幼稚園、保育所の跡利用はそれぞれどのように考えているか。

**答** 教育長

公立幼稚園については、村公有財産管理運用委員会において、今後の利活用を検討していく。

また、公立保育所については、現在のところ村公共施設等総合管理計画に基づき、売却処分を前提に検討しているが、当面は幼保連携一体化施設整備に伴う保育所関係備品の一時保管場所として活用の予定。

**問** 跡利用検討委員会等を



與儀 常次 議員

設置する計画は。

**答** 教育長

施設の今後の活用状況を踏まえ、村公有財産管理運用委員会において協議を行い対応していきたいと考えている。

**問2** 今帰仁村のゆるキャラ

今帰仁村ではゆるキャラづくりについて検討したことがあるか。

**答** 村長

現在本村では、「ゆるキャラ」ではないが毎年「北山王・王妃」を募集し、一次審査、二次審査を経て「北山王・王妃」となられた方



▶ 第6代北山王・王妃

へ、今帰仁グスク桜まつり中心に各イベントに参加していただき、本村のピーアールを担っていた、だいたいいる。新たな「ゆるキャラ」の導入については、村商工会や村観光協会と連携し、検討していきたいと考えている。

**問** 沖縄県では、ゆるキャラは何市町村にあるか。

**答** 村長

県内市町村の「ゆるキャラ」については、調査したところ、沖縄県内41市町村

のうち、30市町村がマスコットキャラクターを作成していると把握している。

**問3** 子どもの貧困対策

村では、子どもたちのためにどのような貧困対策がなされているか。

**答** 村長

村の貧困対策としては、子ども応援支援員を配置し、個別の訪問などを行っているほか、給付型奨学金や入学準備金貸付制度を設けている。

また、進学を応援する制度や仕組み・教育資金全般について書かれた冊子の提供を行っているほか、県の事業である母子家庭生活支援事業所「ゆいはあと」や子育て総合支援モデル事業による「じんぶん塾」と連携を行っている。



# 平成30年9月定例会傍聴へ行こう！

平成30年9月10日(月)～21日(金)までの会期予定です。

一般質問日程は13日(木)・14日(金)・19日(水)の予定ですが、詳細については事務局までお問い合わせください。

～あなたが選んだ代表がどのような活動をしているか村議会を傍聴してみませんか？皆様の傍聴をお待ちしております～

お問い合わせ

☎0980-56-4397 議会事務局

**問1** 村立小中学校による学力向上推進



島袋 誠 議員

たくましい大人になるために、幼児児童生徒の学力向上を推進し、「確かな学力向上」に向けてどのような取り組みを行うか。

一貫教育に取り組んでおり、その中でも「キャリア教育の充実」については、これからの社会で求められる汎用的能力の育成を目指し、教育課程に絡めながら取り組んでいく。

**答** 教育長

「確かな学力向上」については、沖縄県の施策として「学力向上推進プロジェクト」が平成29年度より3カ年計画で実施されている。本県も県の施策にあわせ、学校・家庭・地域・行政機関等が一体となった取り組みを行い、本村の子どもたちの「確かな学力向上」を目指している。

本村では「北山学園プロジェクト」のもと、地域型

**問** 今帰仁村「共通実践4項目」(仮称今帰仁スタンダード)について伺う。

**答** 教育長

「共通実践4項目」

●一つ目「チャイム黙想」授業開始前に席に着き、チャイムとともに各自で黙想をし、休み時間と授業のけじめをつけ、心を落ち着かせることで、授業に集中する環境を整える。

●二つ目「さんSAN運動」

友達や年上、年下、男女を問わず「〇〇さん」と「さん」づけを実践することで、TPOに応じた丁寧な言葉遣いを意識し、互いを尊重する雰囲気为学校全体で醸成する。

●三つ目「徒歩登校」 体力の向上を促し、規則正しい生活習慣を身につける。

●四つ目「学級環境のユニバーサル・デザイン化」

特に「教室の前面を意識的にすっきりとさせる」ことに取り組みの重点をおき、児童生徒が集中して授業に取り組む環境を整える。

以上を「共通実践4項目」(今帰仁スタンダード)として、推奨する。

**問2** 羽地大川農業用水

国営事業費393億円、工期昭和60年度～平成18年度の工期で完成し、名護市、今帰仁村の農業生産の向上、農業経営の安定化に大きな役割を担っている。現在は村内東側での整備は進んでいるが、西側地区はそ

の恩恵を受けていない現状である。以前から農家の強い要望もある、環境保全型農業の普及を図ることから、西側地区の整備を熱望するが、村長の見解は。

**答** 村長

国営かんがい排水事業(羽地大川土地改良区)へ新たに地区編入するためには、沖縄総合事務局及び国土交通省との調整や、名護市との協議も必要となる。

さらには沖縄県、今帰仁村及び受益者の負担も生じることから、地元の意見及び村の財政状況を確認しながら検討していきたい。

**問3** 「古宇利島マジックアワーRUNin今帰仁村」の開催時期

実行委員会、事務局の努力により年々参加者が増え、第8回は過去最高となったが、定員の4,000名にはわずかだが及ばない。要因として、開催時期である4月の不安定な天候が考えられるが、開催時期

についての見解は。

**答** 村長

古宇利島マジックアワーRUNinは、現在4月の第3週土曜日に開催している。同大会は実行委員会形式で行っており、毎回実行委員会で話し合った上で日程を決定している。村の行事や他のマラソン大会との兼ね合いもあるので、次回大会に向けた実行委員会で話し合った上で決定していきたい。



**問1** 総合運動公園を利  
活用した地域コ  
ミュニティづくり

村老人クラブを中心に、健康増進や介護予防に資するグラウンドゴルフが長年活発に続けられてきたが、高齢化が進むにつれ道具の設営撤去などの負担が大きな課題となっている。公園内の多目的広場へのグラウンドゴルフ備品の常設運用について。

**答** 教育長

多目的広場にホールポストを設置し、他の団体が使用する場合は、休憩用テントへ片づけて頂くという運用を村老人クラブ連合会長と調整した。

**問** 多目的広場への屋根付き休憩所やバリアフリー対応トイレの新規設置は。

**答** 教育長

多目的広場への休憩所は、休憩用のテントを設置する。バリアフリー対応トイレについては、設置費用、及びその後の清掃や浄化槽管理などの維持管理費用を考慮しながら、今後の課題として検討していく。

**問** 公園内入り口にある既存の和式トイレを高齢者や障がい者に優しいトイレの改修は。

**答** 教育長

運動公園内入口にあるトイレは、すべて和式である

ため、これらの一部を洋式トイレへの改装することについて、9月の補正を検討していきたい。

**問2** 今帰仁村移住定住  
促進事業

「ビジョンづくり」は、受託業者がゼロから構想するのか、又は、村の大筋のビジョンがあるのか、移住に重きを置いた考え方と、定住に重きを置いた考え方では、ビジョンづくりの方向が変わってくると考えられるが、村当局の具体的な方向性は。

**答** 村長

本事業の大筋のビジョンは、「今帰仁村人口ビジョン・総合戦略」に記載の通り、「今帰仁村の魅力を生かし、新しい人の流れをつくる・呼び戻す」ことにあり、そうすることで村全体の地域活性化を図る目標。

今年度は、講演会やワークショップの開催、移住ガイドブックや今帰仁村全19

カ字のパンフレットを作成する。

**問** 業務委託仕様書に住民にむけたワークショップを村全体を4地区に分け、各一回程度の開催と記載されているが、これまで村が移住定住に向けた何らかの事業を実施し、よって地域住民の関心度が高いなら、講演会やワークショップへの参加率も高いと予想されるが、一回のワークショップで地域住民が自分たちの問題として移住定住の意識啓発、課題点を議論する住民参加型の共同作業としての体をなすのか。

**答** 総務課長

関係部署・各課で関連する部分について情報共有を図りながら連携する。

**問** 住民向けの意識啓発も必要ですが、では役場職員は、移住・定住にどのような考えで、実際に話し合われた機会は。

**答** 総務課長

職員も、地域に帰れば地域の一員という事で、地域住民と一緒にワークショップに参加してほしい。職員間で、話し合われた事はない。

**答** 総務課長

プロポーザル参加業者から1回では、不十分だという事で、2〜3回、必要に応じて複数回を開催することで提案を受けている。

**問** 空き家対策と移住定住促進事業とは関連してきていると思うが、移住者に対して空き家を活用したカフェ



玉城 みちよ 議員





山城 太 議員

**問1** スクールバス停留所の整備

雨天時生徒たちは、雨に濡れながらバスを待つ状況である。授業を受けるにも制服が濡れた状態では集中力低下等。

そして冬場には健康上にも悪影響が考えられる。生徒の健康上、学習環境の整備の観点から風雨をしのげる建屋バス停の設置が必要ではないかと考えるが、村の見解は。

**答** 教育長

現在、天底小学校、今帰仁中学校のスクールバスの運行経路については、大部分が国道である。関係機関との調整、及び設置要請を

**問2** 観光振興

ユニバーサルツーリズムについてどう考えているか。

**答** 村長

ユニバーサルツーリズムとは高齢や障がい者等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指すことであり、沖縄県においても、「誰もが楽しめる、やさしい観光地を目指して」平成19年2月14日に沖縄観光バリアフリー宣言を行っている。

村としても情報の収集や、関係機関との連携を強化しながら、どのような対応等

行っていく。

が可能な調査していきたい。

**問** 本部港に2020年供用開始予定のクルーズ船寄港で、多くの方々が我が今帰仁村にもお越し下さり、今帰仁村を堪能していただくために、村内含め食材の豊富な近隣市町村と連携し、現在でも100万余の観光客が訪れる古宇利漁港内に、今帰仁・ヤンバルの食の観光を楽しめる施設を、北部連携促進事業等を活用し建設してはどうか、それに伴い農畜産業、漁業、加工販売の振興にもつながっていくものと考え

**答** 村長

古宇利漁港内の食の観光施設については、古宇利島にも大勢の観光客が訪れている状況下、ご質問にありますが今帰仁やんばるの食の観光施設建設に関しても、貴重なご意見として承りました。ただ、喫緊の課題として、駐車場とトイレが慢性的に不足しており、2020年

本部港のクルーズ拠点供用開始に向け、観光地としてのイメージダウンを招かないよう、まずは駐車場及びトイレの整備に関し、優先して進めていきたい。

**問3** 地域おこし協力隊

現在の北山高校内での塾の状況は。

**答** 教育長

現在36名の生徒が受講しており、塾講師については2名で運営を行っている。

**問** グローバル化が進む中で、英語、英会話に特化し、年代別、レベル別での塾や教室を開設してもらいたい

**答** 教育長

英語教育についての重要性は認識しているが、行政として年代別、レベル別の英語塾を運営していくことは、現在考えていない。小学校・中学校及び高校については、ALTも配置

しており、ネイティブな英語学習環境があり、また、民間の英語教室、地域での英会話サークル等があることで、活用をお願いしたい。

**お詫びと訂正**

「議会だより第150号」（平成30年6月1日発行）記事に誤りがありました。

- 12ページ
  - 平成29年度政務活動費収支報告書表氏名欄
  - 誤 與儀 勝治
  - 正 與那 勝治
- 13ページ
  - 平成29年度政務活動費の使い道(円グラフ内訳表示)
  - 誤 事務費 0.3%
  - 正 事務費 3.1%

読者の皆様には、訂正してお詫び申し上げます。  
※なお、ホームページ掲載記事については訂正済です。





嘉数登沖縄県企画部企画振興統括監（写真左）に要請書を読み上げる東恩納寛政議長



喜屋武治樹村長（写真左から）、嘉数登沖縄県企画部企画振興統括監、東恩納寛政議長、上原祐希議員（要請決議提案者）

村議会では、平成30年6月22日定例会において、「古宇利島に光ケーブルの早期導入を求める要請」を決議し、8月1日付で県知事あて村長と共に要請を行った。議長は「古宇利大橋の開通以来、島への観光客等の増加に伴い、ネット環境の整備の必要があり、光ケーブルの早期敷設が望まれる。」として、県の対応に期待するとした。

### 古宇利島に光ケーブルの早期導入を求める要請決議

スマートフォンの普及を受け、インターネット利用が当たり前になる中、村民の医療、福祉、教育などの住民サービス向上に向けては、情報インフラの整備は必須になっている。

また、沖縄県では、県内への入域観光客数の大幅な伸びを受け、2017年3月に2021年度に向けた観光の目標について、入域観光客数を1,000万人から1,200万人に、観光収入を1兆円から1兆1千億円に上方修正した。

その際に、国内観光客数は800万人と据え置き、外国人観光客数を200万人から400万人としている。

そんな中、2020年供用開始予定の本部港への大型クルーズ船寄港が決定しており、本村においても大幅な外国人観光客の増加が見込まれる。

中でも、県内においても重要な観光地となっている古宇利島へは現在の80万人程から更なる入域観光客数の増加、特に外国人観光客数は確実に伸びる事が予想される。

そのような状況の中、古宇利島への高速ブロードバンド環境の整備はインバウンド対策（多言語対応、Wi-Fi環境整備、ICTを活用したサービス向上）において必要不可欠なものである。知事も「世界最高水準の観光リゾート地を目指して頑張っていきたい。」としている。

よって、観光立村を目指す今帰仁村においても、「美ら海水族館」と並び、北部の観光名所である古宇利島への高速ブロードバンド環境整備事業は必須であると考え、光ケーブルの早期導入を強く求める。

以上決議する。

平成30年6月22日  
沖縄県国頭郡今帰仁村議会

宛先 沖縄県知事 翁長 雄志 殿

### 議決結果・賛否一覧表

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「公」：公務の欠席 「病」：法定伝染病の欠席。議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。

議案番号	議案	議長 氏名	議決結果										
			1 與儀 常次	2 上原 祐希	3 與那 嶺 透	議長 東恩納 寛政	5 與那 勝治	6 吉田 清尊	7 玉城 みちよ	8 與那 嶺 好和	9 山城 太	10 島袋 誠	11 座間 味 薫
議案第24号	平成30年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について	可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成30年度今帰仁村国民健康保険特別会計第2回補正予算について	可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成30年度今帰仁村水道事業会計第1号補正予算について	可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	工事請負契約について（幼保連携一体化施設新築電気設備工事）	可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	工事請負契約について（幼保連携一体化施設新築機械設備工事）	可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
同意案第4号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
決議第2号	古宇利島に光ケーブルの早期導入を求める要請決議	可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○

# 現場踏査

◎現場踏査は村が発注した事業、及びその他の事業の進捗状況を直接現場に出かけて調査するもので、定例会の会期中に行われています。

## ■仲宗根地区排水路道路計画地



▲ 1号水路



▲ 2号水路・1号道路

## 平成 29 年度決算審査

7月11日から8月15日までの間、一般会計を始め国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の決算審査が行われた。監査委員は決算報告書により、財政運営が効率的かつ公正に実施されたかどうか担当者から聴取し慎重に審査を行った。

また、先の台風7号の大雨で石垣が崩落した今帰仁城跡を現場踏査した。



## 北部市町村議会・議員事務局職員研修会及びスポーツレク大会スポレク大会 IN 大宜味村

北部市町村議会議長会主催で7月5日、大宜味村で開催された。これは、議会の円滑な運営と地方自治の振興発展、健康増進、親睦を目的に各市町村持ち回りで毎年行われている。今年も研修会で研鑽をつんだ後スポーツ・レク大会でさわやかな汗を流した。大宜味村農村環境改善センターで行われた懇親会では、村特産の手作り料理に舌鼓を打ちながら参加者は交流を深めた。



8月20日沖縄県町村議会議長会石垣安秀事務局長を、招へいし、「村議会議員研修会」が議会議事局で行われた。これは今年から、設置された「予算審査特別委員会」決算審査特別委員会」の議案をより詳細に、かつ十分な審議をするために、村議会（東恩納寛政議長）主催で開かれたもの。研修会では特別委員会での審査方法、決算の見方・審議の仕方を主に進められた。石垣事務局長は、委員会運営上の問題点等丁寧に説明され議員らは研鑽を積んだ。

## 研修風景

## 編集後記

◆村民の皆さまの負託を受け村議会議員として活動させて頂き、早いもので4年の任期が終わろうとしています。広報調査特別委員会では、「議会で何を議論し議員は何をしているのか」を限られた文字数に納め議会報告としてお伝えすることの難しさを痛感しました。

各編集委員で知恵を出し合い、住民にわかりやすさや見やすさを念頭に入れ工夫しながら「伝える努力」を重ねてきましたが、現在のメンバーでの編集は、今号で最後となります。

地方分権が進む中、議会の果たす役割は、大変重要であり、議会の様子がこの紙面を通じて皆さまにホッとに伝わることを願い、これからも進化する「議会だより」にご期待ください。

広報副委員長 玉城みちよ

